

## 情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] Volumetric CTにより測定した肺容積と慢性呼吸器疾患の関わり

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 荻野和功

[研究責任者] 横村光司（呼吸器内科・医師）

[研究の概要]

■ 目的・方法（研究期間も含む）

研究期間：実施承認後～2023年12月末

目的・方法：近年 CT 装置の進歩により、詳細な肺野領域の情報が得られるようになりました。CT画像を用いて、三次元的に肺容積を測定することも可能となっています。慢性呼吸器疾患の進行の評価には血液検査、画像検査に加えて呼吸機能検査が行われています。しかし、慢性呼吸器疾患のある状態では呼吸機能検査の負担は大きく、一部の疾患においては呼吸機能の検査結果と病気の進行が必ずしも一致しないこともあります。CTは比較的侵襲が少なく、呼吸状態の悪い場合にも行うことが可能な検査です。一方で慢性呼吸器疾患においてCT画像を用いて測定した肺容積の意義は明らかではありません。このため本研究では、CT画像を用いて測定した肺容積と慢性呼吸器疾患のかかわりを調査します。

■ 対象となる患者さん

2000年1月～2020年12月までに慢性呼吸器疾患のため胸部CTを施行された方

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：性別、年齢、身長、体重、病歴、治療歴、検査結果、CT画像、治療中の副作用等

■ 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

■ 研究組織

浜松医科大学 医学部内科学第二講座 須田隆文

国立病院機構天竜病院 副院長 白井 正浩

聖隷浜松病院 呼吸器内科 部長 中村 秀範

■ [問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

呼吸器センター内科 長谷川浩嗣

(様式 17)

研究番号	第 20-65
------	---------

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971